

第32回 A-Forum フォーラム

日本の木造建築と林業

パネリスト

大橋好光：東京都市大学名誉教授

稲山正弘：東京大学教授、ホルツストラ代表

榎本長治：山長商店会長、山長林業など社長

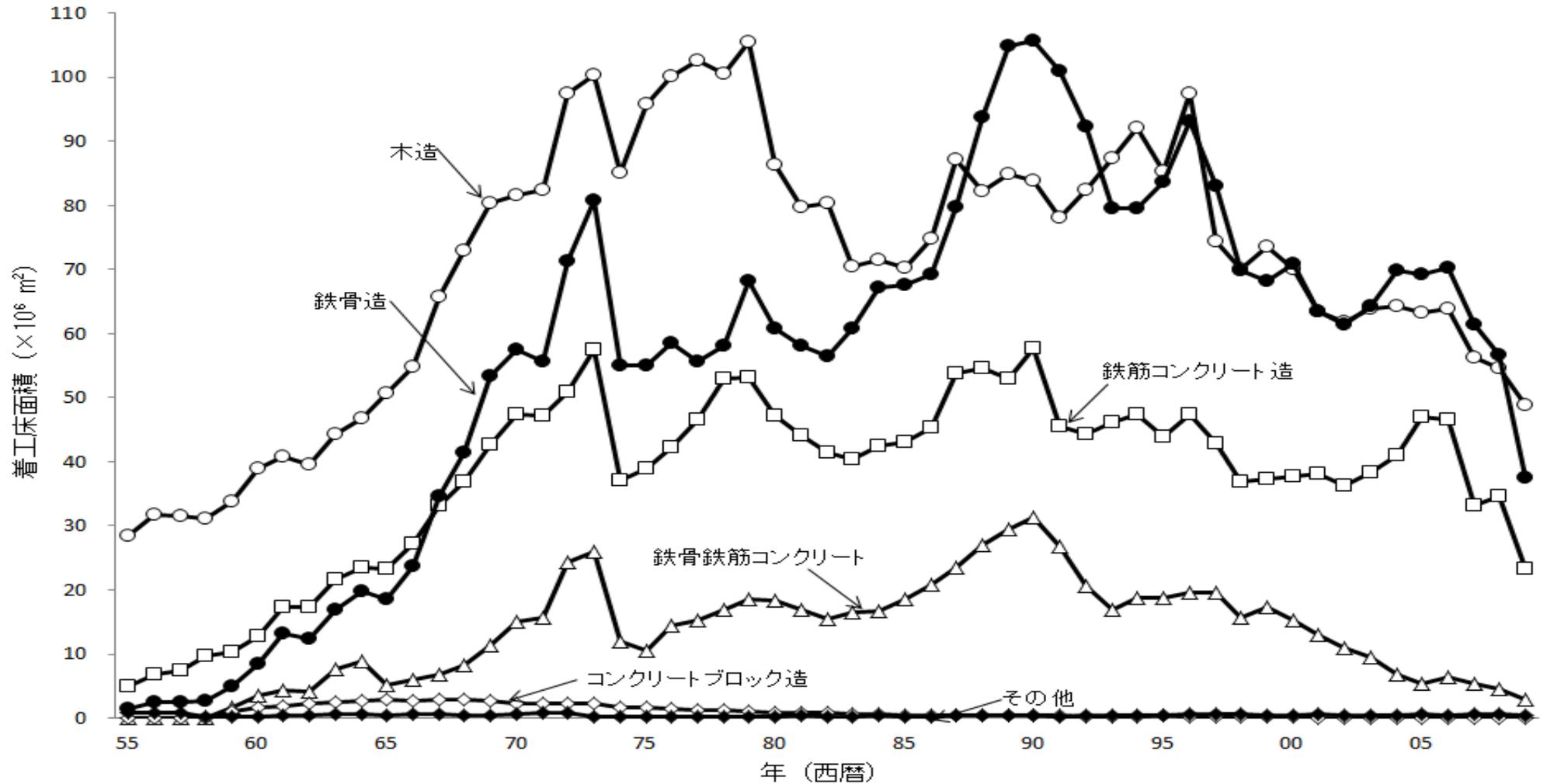
木造建築の戦後

激減した中・大規模木造建築

- 1950年 衆議院「都市建築物の不燃化促進に関する決議」
公共施設から木造がなくなる
- 1950年 日本初の建築基準法制定
木造建築の制限 高さ13m 軒高9m
- 1959年 日本建築学会による建築防災に関する決議
火災、風水害の危険が著しい地域での木造禁止

以降集成材に関する技術整備は少しずつ進められてはいたが、鉄骨造が普及する反面、戸建て住宅以外の木造が衰退

木造と並んで最も多く採用される鉄骨造



近年におけるわが国の構造別建築着工床面積の推移¹⁾

木造建築の復活

復活のきっかけとなった社会活動

1986年~2001年 木造建築研究フォーラム発足

2001年~ NPO木の建築フォーラム発足

復活の基盤となった法整備

1987年法改正：木造3階建て、集成材の燃えしろ設計

1993年法改正：木造の準耐火建築物が可能に

2000年法改正：木造の仕様規定強化、性能規定化

2010年新法：「公共建築物等木材利用促進法」施行

→「地球温暖化防止などに貢献する建築物・・・」

2013年法改正：3階建て学校等に係る防耐火規制の緩和

戦後の林業

戦中・戦後に軍需用、復興住宅用に木材が大量消費され森林乱伐による山林の荒廃が広がった。

1946年：植林政策の推進 人工林面積 4万ha

1954年：人工林面積 43万ha

1980年代：戦後植林された苗木が森林資源として市場に出回る頃、

木造建築の激減、円高等による木材需要低下

1990年代：木造住宅が大壁構造の洋風化に伴い、ヒノキなどの国産材から外材（集成材）に変わる

2005年～：国が国産材の「木づかい運動」推進

2019年～：「森林を活かす都市の木造化推進」議連・協議会

杉はもう悪者ではない (朝日新聞 '19.6.15日朝刊 別冊be)

杉の効用

- 大気中の二酸化窒素・ホルムアルデヒドを吸収・吸着
眠りが深くなる、風邪を引きにくくなる、肌がきれいになる
(京都大学 河合秀一教授 (木質材料学))
- すぐれた調湿
- 断熱・保温効果
カビ・錆の防止、書籍の保存
- 香り成分によるリラックス効果
フィトンチッド効果
発達障害の児童が落ち着いて勉強
がん細胞の増殖を抑える可能性有